

ビワ生育情報

千葉県
平成24年2月号

平成24年1月の気象

平成24年1月の半旬別気象は表1に示した。平均気温は全ての半旬で平年を下回り、中でも第6半旬は平年より3.3℃低かった。月平均気温は4.4℃で、平年より1.6℃、前年より0.6℃低かった。また、全ての半旬で氷点下を記録した。氷点下日数の月合計は17日で、平年より7.0日多く、前年と同数だった。

最低極温は第4半旬及び第6半旬を除く4半旬で平年を上回ったが、幼果が寒害を受ける-3℃以下を記録した日数は2日あった。1月31日には-3.3℃を記録し、この冬一番の冷え込みであった。開花期が短かったことも影響して、平年に比べて寒害を受ける果実が多くなると考えられる。

降水量は第5半旬を除く5半旬で平年を下回り、第2、3、6半旬は降雨がなかった。月合計は54mmで、平年より33mm（38%）少なく、ほとんど降雨がなかった前年より53mm多かった。

日照時間は全ての半旬で平年を下回った。月合計は114時間で、平年より55時間（33%）、前年より106時間（48%）少なかった。

表1 平成24年1月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	気温(℃)			氷点下日数(日)			最低極温(℃)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	6.4	6.7	5.4	1	1.2	3	-0.1	-0.4	-1.7
2	4.8	6.2	6.2	2	1.5	2	-0.9	-1.0	-2.8
3	4.5	5.8	4.2	4	1.7	3	-0.9	-1.4	-3.5
4	4.2	5.9	5.1	2	1.6	2	-2.5	-1.1	-1.7
5	4.5	5.6	5.1	2	1.8	2	-0.9	-2.1	-1.0
6	2.5	5.8	4.1	6	2.2	5	-3.3	-2.0	-4.0
平均/計/最低値	4.4	6.0	5.0	17	10.0	17	-3.3	-3.4*	-4.0

※：1月の過去38年間の最低極温の平均

表1 (つづき)

半旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	1	22	0	21	27	32
2	0	10	0	18	27	40
3	0	19	0	23	27	27
4	4	8	0	11	27	38
5	50	9	0	11	27	36
6	0	19	1	31	34	47
合計	54	87	1	114	169	220

3月の作業

ビワは厳寒期を過ぎて春が近づくと、枝葉の伸長が始まり、果実の肥大が急速に進む。しかし、春先は夜間に冷え込むことがあり、3月中旬までは寒波の襲来に注意が必要である。3月になると台木の芽が動き始めるので、接ぎ木は3月中に行う。また、摘果や袋掛けは寒波の襲来がなくなった頃から始める。

摘果・袋掛け

3月以降の寒波の襲来がなくなる頃を見計らって、寒害を受けにくい園から摘果・袋掛けの作業を始める。

標準的な着果程度は1果当たり20枚の葉が必要である。摘房が十分でない樹は最終的な着花房率が60%になるように摘房する。1果房に残す果数は1～3果で、着果房数が多い樹では1果房に1～2果残すが、着花房数が少ない樹では収量を確保するために多めに着果させる。しかし、3果以上着果させると果実が小さくなる。

接木

接木の適期は、台木の芽が動き始める2月下旬～3月中旬であり、天気安定した時期を選んで行う。気温の低い日に作業すると、接木した苗の活着率が低下する。4月に入ると切り口から樹液の溢出が多くなり、接ぎにくくなるので、3月中に終わらせる。台木は接木部の直径が1.5cm以上のものを用いる。太いものほど活着後の生育はいいが、あまり太いものは取り扱いに不便である。

樹及び花房の発育

ビワの開花期は表2に示した。暖地園芸研究所の開花始期（1花房内の蕾の10%が開花）は、「楠」が11月6日で、平年より3日、前年より1日早かった。「大房」は11月19日で、平年より6日、前年より25日早かった。「田中」は11月11日で、平年より2日、前年より8日早かった。

開花盛期（1花房内の蕾の50%が開花）は、「楠」が11月16日で、平年より13日、前年より12日早かった。「大房」は12月7日で、平年より15日、前年より23日早かった。「田中」は11月21日で、平年より17日、前年より16日早かった。

開花終期（1花房内の蕾の90%が開花）は、「楠」は11月28日で、平年より33日、前年より18日早かった。「大房」は1月1日で、平年より31日、前年より32日早かった。「田中」は12月4日で、平年より55日、前年より21日早かった。

本年は、花房の発現は遅かったものの、10月及び11月は平年より温暖だったため、開花の進みが早かった。1月末に強い寒波があり、3品種共、寒害を受けたと考えられる。花房の充実はやや悪いが、樹の生育は良好である。

表2 ビワの開花期（暖地園芸研究所）

品 種	開花始期(月.日)			開花盛期(月.日)			開花終期(月.日)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	11. 6	11. 9	11. 7	11. 16	11. 29	11. 28	11. 28	12. 31	12. 16
大 房	11. 19	11. 25	12. 14	12. 7	12. 22	12. 30	1. 1	2. 1	2. 2
田 中	11. 11	11. 13	11. 19	11. 21	12. 8	12. 7	12. 4	1. 28	12. 25

平年：1982年（昭和57年）～2010年（平成22年）の29年間の平均

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話0470-22-2961】
※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nousui/nourinsuisan/nourinsuisan.html>